

今治造船株式会社（愛媛県今治市）

より良い職場で、より良い船を

日本一の モノづくりを 支える人、を支える



2012年入社した田中沙苗主任。今治造船の船のスケールとニーズ、何よりそれを造る職場の雰囲気の魅力を感じたとのこと。初期計画の経験を活かしながら、現在は機関部の設計を担っている。

会社の姿勢

入社と同時に、貴重な造船人材の一員

世界最大級、東京タワーより大きい船を多数手がける当社の仕事は、このご時世にあっても楽しい仕事ではありません。事務、設計、建造等多くの仕事において、大きなモノづくり故の大変さがあります。男女問わず人材確保に苦戦する中、2011年以降毎年平均7人の女性社員が入社し、各分野で日本一のモノづくりを支える活躍をしています。応募が少ない中で貴重な人材を大切にしてきたこれまでの姿勢はそのままに、より多くの方に造船のスケールを発信し、ともにより良い船造りを目指す仲間を増やしていきます。今治造船と言えば、瀬戸内一帯に10工場を構えるネットワークが特徴。多様なバックグラウンドを持つ方々が働く環境が整っています。



「試運転は少しハードですが、今の仕事をもっと突き詰めて極めていきたい」。田中主任が機関部設計に携わった船がまた一隻、大海洋に送り出されようとしています。

社内環境

働き方、働きやすさの改革は現在進行中

残業時間の削減、ノー残業デーの徹底を進めています。一方で、社内外研修の拡充、無償の英語教育を整備し、仕事の幅を広げる機会を設けました。さらに、自宅通勤の方以外は、寮や社宅のご案内ができる体制を確立。そんな地道な職場改善の甲斐あってか、現在4名の女性社員が役職を持つ総合職として活躍中。専門性の高い仕事で、はじめの内は負荷が大きいのも事実ですが、新入社員全員参加の半年間の現場研修を終えたら、担当として迎えられる、スケールの大きな仕事が待っています。まだまだ人数は少ないですが、日本のリーディングカンパニーの一員として、超大型船の設計、建造、検査部門で女性も力を発揮しています。



「搭載される主機に合う機器や配管を選定して、エンジンまわりを形にしていきます。一つの船として形になっていくのは面白いし、自分の思いも反映できます」。

取り組んでいる会社の概要

今治造船株式会社

代表者：檜垣 幸人（代表取締役社長）
所在地：愛媛県今治市小浦町1丁目4番52号
資本金：300億円
事業内容：船舶製造及び修繕
従業員数：1,595名
(平成31年3月時点)